

武豊町から 絵本作家が デビュー！

絵本作家 小山つづきさん



プロフィール

1978年、武豊町生まれ。福井工業大学卒業後、武豊町にある建設会社に勤務。結婚を機に、現在は家族とともに豊明市に在住。子育てと書店勤務に勤しみつつ、絵本『カッパのあさごはん』でデビューした。



デビューのキツカケは 書店員手作りのPOP

現役書店員の小山さん。絵本作家になるきっかけになったのが、小山さんが手作りした絵本紹介のPOP。

出版社の営業担当が、たまたま小山さんのPOPを見て、「絵本を描いてみたら」と声をかけたのがきっかけでした。

これまで絵を習った経験はありませんでしたが、学生時代は読書感想画コンクールに何度か作品を出したりと、子どもの時から絵を描くことが大好きだったそうです。

リアルお母さんが描いた くすつと笑える物語

絵本に登場するカッパの家族は、実は小山さんの家族がモデルだそうです。二人の息子さんがまだ幼かった頃、絵本の読み聞かせをして寝るのが日課でした。

ある日、小山さんは疲れ切っていてしまって絵本を取りに起きるのが面倒になり、寝ながら即興で作ったのが「カッパの家族のお話」。絵本の原型ともいえるものでした。



▲小山さんは、父、母、子(兄・弟)の4人家族。カッパ家族は小山さん一家がモデル。

でも、なぜカッパだったのでしょうか？ それは、ご主人がどこかのお土産で買ってきたカッパの置物が寢室にあり、「ちようどそれが目に入ったから」とのことでした。

絵本の物語は、子ガッパの兄弟が朝ごはんの文句を言ってしまうところから始まります。ただでさえ忙しい最中、せっかくなので作ったご飯に文句を言われ、お母さんは黙ってはいられません。実はこれ、小山家で実際に起きた出来事だそうです。「子育ては大変な時もあるけれど、子どもたちと過ごす時間は貴重な思い出がたくさん」と、小山さん何気ない家族の日常に、まだまだ物語のヒントがあるかもしれません。

愉快なカッパの家族、次はどんな物語を見せてくれるのでしょうか？

カッパの家族に 心癒されてみては？

「今、世間は何かと大変で心休まらないこともあるかと思えます。家の中の、日常の何気ない毎日を思い出して、ほっこりしてもらえたら」と、小山さんは語ります。

子どもはもちろん、大人だって絵本を読んでOKです。

みなさんぜひ、小山さんの作品を手にとってみてください。

あらすじ

朝ごはんの支度で大忙しの母さんガッパ。子ガッパの兄弟はそのそ起きてくるなり「パンがいいよう」とつい文句を口にします。怒った母さんは、兄弟に朝ごはんの食材を求める旅に出かけさせるのでした……



『カッパのあさごはん』

作：小山つづき 発売：ロクリン社
定価：本体 1500 円＋税

町内保育園、小・中学校、町図書館等にも置かれる予定です！